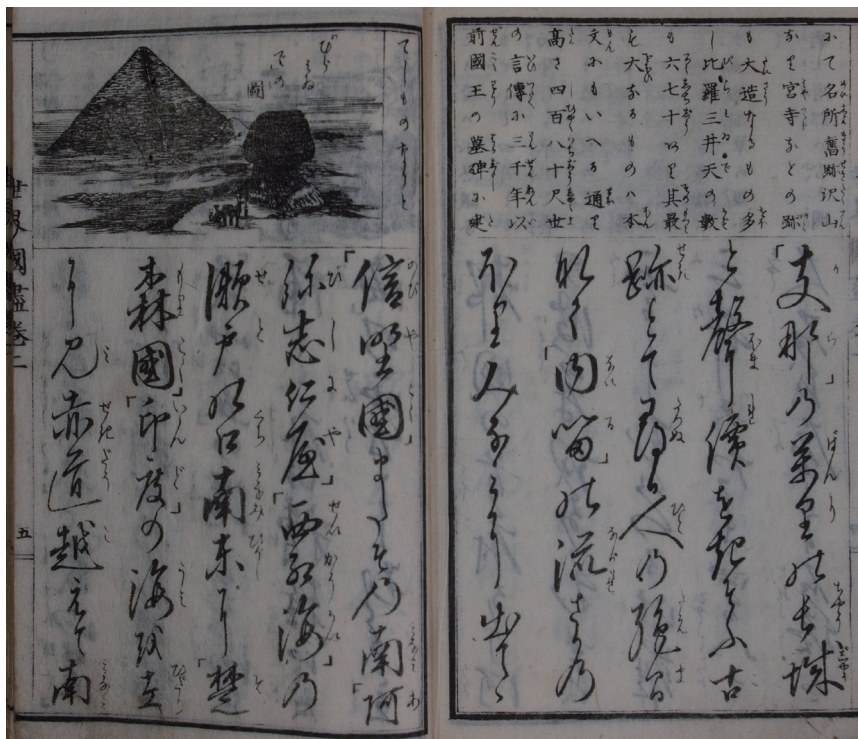


福沢諭吉（「世界国尽」）



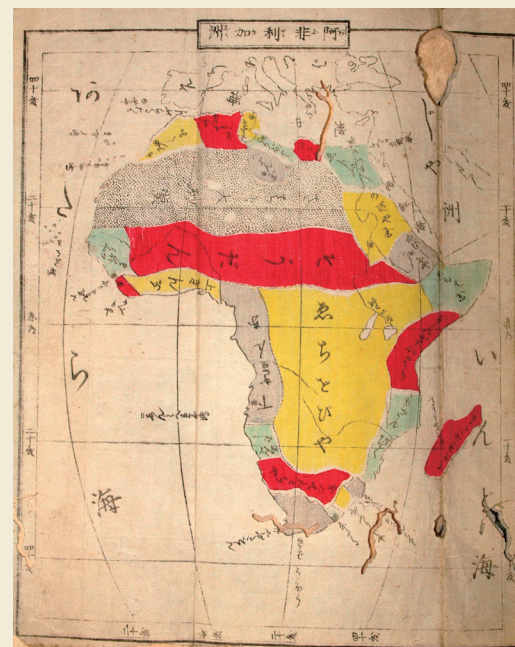
* 塩田家文書 和漢488「世界国尽 巻一」

解説

福沢諭吉は明治時代の啓蒙思想家・教育者で、代表作「学問のすゝめ」をはじめ、生涯にわたって多くの著述を残しました。

左の写真は1869（明治2）年に著されたベストセラーの一つ「世界国尽」第一巻です。「世界国尽」は世界地理の入門書で、世界を5つの地域に分け説明しています。江戸時代の旅案内である「都路」などを手本にして、暗唱しやすいように七五調で書かれました。また、習字の手本にもなるように大きな文字で書かれています。

アフリカの部分（写真下）では「ぴらみいで（ピラミッド）」、「内留（ナイル）川」,



葉が見え、地図のページでは大西洋のことを本来のAtlantic Oceanに由来する「あたら海」と紹介しています。しかし「系ちをびや（エチオピア）」の位置が実際とずれているなど正確でない部分も見られます。

* 当館には福沢諭吉の著作物として、日本初の簿記に関する訳書である「帳合之法 初編一・二」（佐藤家文書 和漢245）や新暦を解説した「改暦弁」（内田家文書（防府市）2791・武田家文書523）などがあります（4-2-3「太陽暦の採用」参照）。